

松江市産後ケア事業のご案内



産後、からだが回復していない中で子育てがスタートし、授乳や育児などでとまどったり、不安になっていませんか。松江市ではそんなお母さんが少しでも安心して子育てができるよう産後ケア事業を行っています。

利用できる方

松江市民で産後1年未満のお母さんと赤ちゃんで、次のいずれかに該当する方。

ただし、医療行為が必要な方は利用できません。(施設によって利用可能な期間が異なります)

(1)産後に心身の不調や育児不安のある方 (2)ご家族などから十分なサポートが得られない方

産後ケアの内容

- ・お母さんや赤ちゃんの体調管理や産後の生活の相談、赤ちゃんの体重確認
- ・お母さんの心と体のケア
- ・授乳、沐浴など育児に関する相談 など

しまね電子申請サービス
申し込みフォーム



利用の方法

利用申請

インターネットによる申請（電子申請）、または窓口・郵送・メール FAX のいずれかで申請してください。妊娠中の申請も可能ですのでご相談ください。

(申請に必要なもの)

- ・生活保護世帯の方・・・保護証明書
- ・非課税世帯の方・・・市町村民税の賦課期日において住民登録が松江市外の場合は、課税証明書

決定通知

利用決定通知書をご自宅へ郵送します。

利用予約

Aya 母乳育児相談室・・・直接、利用予約をする。
それ以外の施設・・・こども家庭支援課へ連絡し利用予約をする。

利用日数

デイサービス型・訪問型 通算して7日以内

宿泊型 7日以内 (1泊2日は2日、2泊3日は3日と数えます)

種類と利用料金 (1日あたり)

産後ケアの種類は3種類あり、ご自分にあったケアを選ぶことができます。



種 類	市民税課税世帯	市民税非課税世帯	生活保護世帯	利用内容・支払い方法
デイサービス型 7時間	2,000 円	1,000 円	0 円	日中に施設で過ごし、産後ケアを受けます。 利用料金は直接施設へお支払いください。
デイサービス型 3時間	1,000 円	500 円	0 円	
訪問型	1,000 円	500 円	0 円	助産師が訪問し、ご自宅で産後ケアを行います。利用料金は、利用した翌月に納付書を郵送しますので、指定金融機関へ納付してください。
宿泊型	2,500 円 (1泊2日 5,000 円)	1,250 円 (1泊2日 2,500 円)	0 円	施設に宿泊し、産後ケアを受けます。利用料金は直接施設へお支払いください。

産後ケア実施施設等

デイサービス型と宿泊型

下記の施設の実施状況は令和6年4月1日時点での状況です。
今後、施設の実施状況は変更になる場合がありますので、
市のホームページでご確認ください。（表面のQRコードから）

施設名	デイサービス型	宿泊型	利用可能期間	備 考
松江赤十字病院	○	×	産後4か月未満	食事を希望の方は、別途食事代が必要です。 利用時間：平日9時～16時
松江市立病院	○	×	産後8週～ 1年未満	赤ちゃんは院内保育所を利用するため、別々に過ごします。利用の際には院内保育所の書類の提出が必要です。利用時間：平日9時～16時
マザリー産科婦人科医院	○	○	産後4か月未満	別途食事代が必要です。 利用時間：デイサービス型 10時～17時 宿泊型 10時～翌17時
Aya 母乳育児相談室	○	○	産後1年未満	食事を希望の方は、別途食事代が必要です。 利用時間：デイサービス型 9時～16時 宿泊型 9時～翌16時
ワタナベ相談室	○	×	産後1年未満	平日10時～13時までの3時間タイプのみです。 食事の提供はありません。
家族・絆の吉岡医院 (安来市)	○	×	産後4か月未満	別途食事代が必要です。松江市民で安来市に里帰り中の方または今回の出産で吉岡医院において妊婦健診や産婦健診を受診したことがある方のみ利用できます。利用時間：平日9時～16時

訪 問 型

	利用可能期間	備 考
訪問型	産後1年未満	・平日9時～16時のうち3時間 ・助産師は車で訪問しますので、駐車場の確保をお願いします。

～注意事項～

施設の空き状況により、ご希望の日に予約がとれない場合があります。

お母さんと赤ちゃんが一緒に利用します。赤ちゃんだけの利用はできません。



申し込み・問い合わせ先

松江市こども家庭支援課（松江市立病院となり）

TEL 0852-60-8155 FAX 0852-60-8160

住所：〒690-0045 松江市乃白町32-2 メール：kosodatehoken@city.matsue.lg.jp

利用者さんの感想



上の子が保育所の間に、デイサービス型を利用しました。家ではバタバタですが、徐々にゆっくり眠ることができ、心身ともにリフレッシュできました。

初めての出産で授乳や育児、こどもの発育の不安がありましたが、助産師さんに相談すると「大丈夫だよ」と言ってもらい安心しました。また自分のやり方に自信がもてました。

両親の支援がなく、こどもとずっと一緒にイライラしがちでしたが産後ケアを利用し、子守りをしてもらい休養ができ心にゆとりができました。

自宅でこどもと2人で過ごしていると、とり残された感じで不安な毎日でした。産後ケアは赤ちゃん和新米ママの学校という感じで、初産の私には心強かったです。

令和6年4月作成